

令和 6 年度

# 湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事

(有)サクライ設計

図 面 目 録					
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
A-01	表紙・図面目録		A-11	改修 3 階平面図 屋上平面図	S=1:100
A-02	改修 特記仕様書 (1)		A-12	現況 南面・西面立面図(参考図)	S=1:100
A-03	改修 特記仕様書 (2)		A-13	現況 北面・東面立面図(参考図)	S=1:100
A-04	改修 特記仕様書 (3)		A-14	現況 矩計詳細図	S=1:50
A-05	改修 特記仕様書 (4)		A-15	改修 矩計詳細図	S=1:50
A-06	改修 特記仕様書 (5)				
A-07	改修 特記仕様書 (6)				
A-08	案内図 配置図	S=1:500			
A-09	現況 1 階平面図・2 階平面図(参考図)	S=1:100			
A-10	現況 3 階平面図・屋上平面図	S=1:100			

湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事

設計図

魚沼市教育委員会

湯之谷公民館

令和 6 年 1 月（全 1 5 枚）

仕様書

I 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 最新年度版」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 最新年度版」（以下「標仕」という。）による。

2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。  
(1) 「工事請負契約書」を「新潟県財務規則(昭和57年3月1日新潟県規則第10号)別記(第70条関係) 魚沼市建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。  
(2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。  
(3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。  
(1) 1 章 1. 1. 2 用語の定義の(7)、(e)及び(ハ)  
(2) “ 1. 4. 2材料の品質等の(1)及び(2)  
(3) “ 1. 4. 4材料の検査等の(1)  
(4) “ 1. 7. 1工事検査の(2)及び(3)

4. 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。  
1 章 1. 1. 2 用語の定義の(ニ)  
“ 1. 7. 2 技術検査

別表（建築改修工事）

号	項目	置き換え後の改修標仕の規定
(1)	1. 1. 2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。 (e)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。 (ハ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 (ただし、②に係る検査を除く。) ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第50条)
(2)	1. 4. 2材料の品質等	(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。 (2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるJ I S又はJ A Sの材料で、J I S又はJ A Sのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(7)から(9)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。 ) は、この限りでない。 (7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (9)特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1. 4. 4 材料の検査等	(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。 ただし、次の(7)若しくは(4)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (7)工事完成検査時又は工事写真で、J I S若しくはJ A Sのマークを確認できる場合 (4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1. 7. 1 工事検査	(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。  (3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

II 特記仕様

1. 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。  
2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。  
3. 特記事項の記載の[ . . . ]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。  
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( ) 内は製品名を示す。

章	項目	特記事項
①	① 工事実績情報 サービス(CORINS)への登録	※諸員工事費500万円以上の場合、登録する [1. 1. 4]
章	2 概成工期	※無し ・有(工期 令和 年 月 日) [1. 2. 1]
共通事項	3 内部の工事期間等	※着手 令和 年 月 日 ～ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査
項	4 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 [1. 2. 2] ・地区の区分に応じた風速（V o (m／sec) ) ・ 3 0 ・ 3 2 ・地面相度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・多雪地域の指定 積雪区画 表示第1 4 5 5号 別表（ ）
	5 監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす 監理技術者を専任で配置できること。 1 建築工事の施工に関し、1 0年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。 [1. 3. 3]
	6 電気保安技術者	※要 [1. 3. 3]
⑦	発生材の処理等	1 0追加特記 7「発生材の処理等」による。 [1. 3. 12]
⑧	特別な材料の工法	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。
	9 施工数量調査の方法	目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。 [1. 5. 2]
⑩	技能士	[1. 6. 2]
		適用工事種別 技能検定の職種 防水改修工事 ・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ○塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ○左官 ・建築板金(内外装板金作業) 外壁改修工事 ・左官 ・タイル張り ・塗装(建築塗装作業) ・樹脂接着剤注入施工 建具改修工事 ・サッシ施工 ・ガラス施工 内装改修工事 ・建築大工 ・左官 ・表装(壁装作業) ・内装仕上げ施工（・プラスチック系床仕上げ ・ボード仕上げ ・鋼製下地工事） ・タイル張り 塗装改修工事 ・塗装(建築塗装作業) 耐震改修工事 ・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工 環境配慮改修工事 ・防水施工(アスファルト防水工事作業) ・ガラス施工 ・造園 ブロック、ALCパネル工事 ・ブロック建築 ・ALCパネル補修施工 石工事 ・石材施工(石張り施工) ・
11	見本施工	※実施する [1. 6. 5]
12	化学物質の濃度測定	1 0追加特記 8「化学物質の濃度測定」による。 [1. 6. 9]
⑬	完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法等は、監督員の指示による。 ・案内図及び配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図 [1. 8. 1～1. 8. 3] ・仕上表 ・建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ※竣工図 (A1 部 A3 1部) ・CADデータ
⑭	施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
⑮	工事完成写真	※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 1部
⑯	工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(平成30年版)」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数 1部
17	設備工事との取合い	1 0追加特記 6「工事区分表」による。

② 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策  
2 監督員事務所等  
5 仮設建物等  
⑥ 足場  
7 養生  
8 仮設間仕切り

③ 工事用水  
④ 工事用電力

現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、 [2. 2. 1] 同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。  
外部足場 ※枠組足場（設置範囲：・工事に必要な範囲 ・ ）  
内部足場 ・架台足場 ・枠組棚足場

既存部分の養生 ※ビニールシート、合板等 [2. 3. 1]  
既存家具等の養生 ※ビニールシート等 ・ [2. 3. 1]  
備品等の移動 [2. 3. 1]  
※監督員の指示による施設内移動とする。（対象備品の移動先は、図示による）  
・行わない

仮設間仕切り等の種別 [2. 3. 2][表2. 3. 1]  
種別 下地 仕上げ材(厚さmm) 充填材(mm) 塗装  
・A種 ※軽量鉄骨 ※セッコウボード(※9.5 ・ ) 厚さ( ) ※無し  
※B種 ・木造 ・合板(※9 ・ ) / ※片面  
・C種 単管 防炎シート  
仮設扉 ※木製扉 合板張り程度 ・行う ※無し  
・ 厚さ( ) ・片面

③ 1 施工数量調査 [1. 5. 2]  
下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。  
調査範囲  
屋根、庇等の防水改修工事の対象となる既存コンクリート面、モルタル面等  
調査内容  
ひび割れの幅及び長さ屋根面等に図示する。  
浮き部分、欠損部を屋根面等に表示する。また、脆弱部を調査する。  
部分的な水はけ不良部や勾配不良の箇所を屋根面等に表示する。

※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする。  
工法種別 施工箇所 保証期間  
○超速硬化ウレタン工法 3階屋根・渡り廊下屋根 1 0年間  
・ 工法 1 0年間  
・ 工法 1 0年間

3 アスファルト防水 [3. 1. 4][表3. 1. 1][3. 3. 3][表3. 3. 3～表3. 3. 10]  
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水工法の種別  
保護防水 ・P 1 B ・B-1 ・B-2  
・P 1 B I ・T 1 B I ・B I -1 ・B I -2  
・P 2 A I ・A I -1 ・A I -2  
・P 2 A ・A-1 ・A-2  
・M 4 C ・C-1 ・C-2  
・P O D ・M 3 D ・D-1 ・D-2  
・P O D I ・D I -1 ・D I -2  
・M 3 D I 仕上げ塗料塗り  
・M 4 D I ※有り（・シムバー ・カー）  
使用量は製造所標準仕様  
屋内防水 ・P 1 E ・P 2 E ・E-1 ・E-2

アスファルトの種類 ※3種 ・ [3. 2. 2][3. 3. 2]  
・二重ドレンの設置（・POD工法 ・PODI工法） [3. 2. 5]  
・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（M4C工法、M4DI工法） [3. 2. 6]  
・粘着層付改質アスファルト・フタング 厚さ(mm) ※1.5以上 ・ [3. 3. 2]  
・改質アスファルト・フタング 厚さ(mm) ※3.0以上 ・ [3. 3. 2]  
・断熱材（屋根保護又は露出防水断熱工法） [3. 3. 2]  
厚さ(mm) ※25 ・  
材質 屋根保護防水断熱工法 ・押出法※リシレンフォーム断熱材3種bA※初層付き（JIS A 9521 建築用断熱材）  
  
材質 屋根露出防水断熱工法 ・ビーズ法※リシレンフォーム断熱材  
・押出法※リシレンフォーム断熱材  
・硬質ウレタンフォーム断熱材（2種1号又は2号の場合、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの）  
・ポリイソシアヌレート断熱材  
・フェノールフォーム断熱材

③ アスファルト防水 [3. 2. 1][表3. 1. 1][3. 4. 2][3. 4. 3][表3. 4. 1～表3. 4. 3]  
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 シートの厚さ(mm)  
密着工法 ・M 4 A S ・AS-T1 下層用 ※2.5以上 ・  
上層用 ※3.0以上 ・  
・AS-T2 ※4.0以上 ・  
・AS-J2 ※3.0以上 ・  
絶縁工法 ・M 3 A S ・AS-T3 下層用 ※1.5以上 ・  
・P O A S 上層用 ※3.0以上 ・  
・AS-T4 ※4.0以上 ・  
・AS-J1 ※2.0以上 ・  
・AS-J3 ※3.0以上 ・  
断熱工法 ・M 3 A S I ・AS1-T1 下層用 ※1.5以上 ・  
・M 4 A S I 上層用 ※3.0以上 ・  
・P O A S I ・AS1-J1 下層用 ※1.5以上 ・  
上層用 ※2.0以上 ・  
・二重ドレンの設置（POAS工法及びPOASI工法の場合） [3. 2. 5]  
・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（M4AS工法及びM4ASI工法） [3. 2. 6]  
・断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ・材質 ・ [3. 4. 2]  
・下地に部分的に密着又は接着を行う工法 ※製造所の標準仕様 ・ [3. 4. 4]

[3. 1. 4][表3. 1. 1][3. 5. 2][3. 5. 3][表3. 5. 1]～[表3. 5. 3]  
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 備考  
(厚さ(mm)) 脱気装置 二重ドレン  
・P O S I工法 ・S-F1(※1.2 ・ ) POS工法 POS工法  
・S 4 S I工法 ・S-F2(※2.0 ・ ) ・設ける ・設ける  
・S-M1(※1.5 ・ )  
・S-M2(※1.5 ・ )  
・S-M3(※1.2 ・ )  
・S 3 S I工法 ・S-F1(※1.2 ・ ) ・設ける  
・S-F2(※2.0 ・ )  
・M 4 S I工法 ・S-M1(※1.5 ・ )  
・S-M2(※1.5 ・ )  
・S-M3(※1.2 ・ )  
断熱工法 ・P O S I ・S 4 S I ・S1-F1(※1.2 ・ ) POSI工法 POSI工法  
・S1-F2(※2.0 ・ ) ・設ける ・設ける  
・S1-M1(※1.5 ・ )  
・S1-M2(※1.5 ・ )  
・S 3 S I ・S1-F1(※1.2 ・ ) ・設ける  
・M 4 S I ・S1-F2(※2.0 ・ )  
・S1-M1(※1.5 ・ )  
・S1-M2(※1.5 ・ )  
・P 1 S I工法 ・S-C1(※1.0 ・ )  
仕上げ塗料塗り（S-F1、S1-F1、S-M1、S1-M1の場合） ・シムバー ・カー  
新規防水層の使用分類 ※非歩行 ・軽歩行  
断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ・材質 ・ [3. 5. 2]  
リネアストコンクリート部材下地 [3. 5. 4]  
目地処理（接着工法） ※図示  
入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合） ・行う（幅 mm程度）

[3. 1. 4][表3. 1. 1][3. 6. 3][表3. 6. 1][表3. 6. 2]  
防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 仕上げ塗料塗り  
○S 3 X 全て ※X-1 ・X-2 ・シムバー  
・L 4 X ・X-1 ※X-2 ○カー  
・P 1 Y ※Y-2  
・P 2 Y ※Y-2  
・二重ドレンの設置（POX工法の場合） [3. 2. 5]  
・既存塗膜防水層表面仕上げ塗装の除去（L4X工法の場合） [3. 2. 6]  
・保護層 ・設ける（P1Y、P2Y工法の場合） [3. 6. 3]

[3. 3. 3][表3. 3. 8][表3. 3. 9][3. 4. 3][表3. 4. 2][表3. 4. 3][3. 5. 3][3. 6. 3]  
種類 仕様 材料  
○平面部脱気型 ・※製造所標準仕様（立上り型） ※7mm鉛造製  
・ステンル製  
・立上り部脱気型 ※製造所標準仕様 ・  
※設置数量は製造所指定数量による。

仕様書(その I)  
Ver. 020401

湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事

年月日 2 0 2 4 . 0 1 図面番号 A-02

図面名称 建築 仕様書 1 縮尺 ⑤ 電機

備考

有限会社 サクライ 設計  
新潟県魚沼市小島島1209番地16（小出東町）  
一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990  
一級建築士登録 第2422222号 管理建築士 浅井 守 人

設計者等氏名 坂 健一  
建築士登録番号等 一級建築士登録 第212355号

工事名称 湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事  
図面名称 建築 仕様書 1



[illegible]

5

8

鋼製軽量建具  
(標準型鋼製軽量建具を含む)

9

ステン製建具

10

木製建具

11

建具用金具

12

自動ドア開閉装置

13

自閉式上吊り引戸装置

14

重量シャッター

15

軽量シャッター

16

オートヘッドドア

17

ガラス

18

ガラス留め材

簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による

[5.5.2][5.5.6]

鋼板類の種類

[5.5.3]

・垂鉛めっき鋼板

・ビニル被覆鋼板

・カラー鋼板

・ステンレス鋼板

簡易気密型ドアセットの性能値の適用は建具表による

[5.4.2][5.6.2][表5.4.1]

外部に面する建具の耐風圧性

[5.4.2][5.6.2][表5.2.1]

・S-4

・S-5

・S-6

かまち戸の樹種

かまち( )

鏡板( )

(16.7.2)

ふすまの種類

・I類

・II類

(表16.7.3)

ふすまの上張り

※新鳥の子又はビニル紙程度

・鳥の子

(表16.7.3)

ふすまの縁の仕上げ

・塗り縁

・生地縁

(表16.7.10)

マスター

・製作する(本)

※製作しない

[5.7.4]

鍵札数量

※錠前1組に2枚とする

・錠前1組に1枚とする

かぎ箱

市販品

形式

・30組用

・60組用

・120組用

・

自動ドアの開閉機構

[5.8.3][表5.8.4]

開閉方法

引き戸用検出装置/の種類

※スライディングドア

・電子マットスイッチ

・タッチスイッチ

※光線(反射)センサー

・スイングドア

・音波センサー

・熱線センサー

・光電センサー

凍結防止措置

※行わない

・行う( )

[5.8.3]

※適用する(適用建具及び適用位置は図示による)

[5.9.1]

外部に面するシャッターの耐風圧強度( )N/m<sup>2</sup>

[5.10.2]

開閉機能

※上部電動式(手動併用)

・上部手動式

[5.10.2][表5.10.1]

二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動シャッターの

[5.10.2]

設置箇所

・図示

・

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所

・図示

・

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構

・設ける(設置箇所:・図示)

( )

一般重量シャッターのシャッターケース

※設ける

・設けない

[5.10.2]

開閉形式

※手動式

・上部手動式(手動併用)

[5.11.2][表5.11.1]

外部に面するシャッターの耐風圧強度( )N/m<sup>2</sup>

[5.11.2]

スラット

厚さ(mm)

・0.5

・0.6

・0.8

・1.0

[表5.11.2]

材質

※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯

[5.11.3]

形状

※インターロック/形

・オートラッキング/形

[5.11.4]

ガイドレール等

※鋼板製

・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm)

[表5.11.2]

シャッターケース

厚さ(mm)

・0.4

・0.8

[表5.11.2]

[5.12.2][5.12.3][表5.12.1]

セクション材料

開閉方式

収納形式

ガイドレール

※スチールタイプ

※オートラ式

・スタンダード/形

・溶融亜鉛めっき鋼板

・アルミニウムタイプ

・チェーン式

・ローヘッド/形

※ステンレス鋼板(SUS304)

・ファイバーグラスタイプ

・電動式

・ハリッド/形

・オートラ/形

耐風圧性能による区分

・50

・75

・100

・125

[5.12.2]

下記以外は、建具表による

[5.13.2]

・合わせガラス

特性による種類

※II-1類

・強化ガラス

材料板ガラスによる種類

特性による種類

・フロート強化ガラス

血類(曲面はI類)

・型板ガラス

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスによる種類

色調

・熱線吸収フロート板ガラス

・ブルー

・グレー

・ブラウン

・グリーン

・熱線吸収網入り磨き板ガラス

複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

・建具表による

耐熱性による区分

・T1

・T2

・T3

・T4

・T5

・T6

日射取得性、日射遮へい性による区分

・G

・S

乾燥気体の種類

・空気

・

・熱線反射ガラス

品質

反射皮膜面

材料板ガラスの種類

映像調整

※熱線反射ガラス

※内面

・外面

・フロート板ガラス

※行わない

・高性能熱線反射ガラス

・内面

・熱線吸収フロート板ガラス

・行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称

色調

※フロート倍強度ガラス

・熱線吸収倍強度ガラス

・グレー

・ブルー

・ブラウン

・

[5.13.2][表3.7.1]

建具の種類

種類

アルミニウム製及び樹脂製

・シーリング材

※がスケルトン(FIX部はシーリング材)

鋼製及び軽量鋼製

※シーリング材

ステンレス製

※シーリング材

19

ガラスブロック積み

20

ガラス用フィルム

6

1

基本要求品質

6

2

改修範囲

6

3

施工数量調査

6

4

既存床の撤去及び下地補修

6

5

既存壁の撤去並びに下地補修

6

6

木下地等

ガラスブロック

[5.13.5]

寸法(mm)

表面形状

性能等

呼び寸法

厚さ

色調

パターン

防火性能

耐火性能

※クリア

・

・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類

規格及び補強材等

※アルミニウム製

・標仕16.2.3の7に規定の製建具の材料による

・

化粧目地モルタルの色

※モルタル色

・

シーリング材料

下表以外は改修標仕表3.7.1による

[5.13.5][3.7.2][表3.7.1]

シーリング材の種類

被着体の組合せ

記号

主成分による区分

耐久性による区分

・

・

・

名称

種類

張り面

性能値

※ガラス飛散防止フィルム

第2種

※内張り

・外張り

飛散防止率

95%以上

品質

JIS A 5759による

6

内装改修工事

7

集成材

8

合板等

9

防腐・防蟻処理

10

軽量鉄骨天井下地

11

ビニル床シート張り

12

ビニル床タイル張り

「製材の日本農林規格」による製材

[6.5.2]

品名

樹種

寸法(mm)

等級

形状

含水率

保存処理

・下地用針葉樹製材

・

・

※2級

・

※A種

・B種

・造作用針葉樹製材

・

・上小節

・小節以上

・

※A種

・B種

・広葉樹製材

・

・

※1等

・

※10%以下

・A種

・B種

「製材の日本農林規格」以外の製材

[6.5.2]

施工箇所

樹種

寸法(mm)

材面の品質

防虫処理

含水率

・

( )

・適用する

※A種

・B種

・

造作材の場合

・適用しない

・

・樹種のうち杉は、県産材を使用する

造作用集成材等

[6.5.2]

品名

規格・品質

心材の樹種

化粧単板の樹種

見付け材面数

・造作用集成材

※1等

・2等

・

・

・

・化粧ばり造作用集成材

※1等

・2等

・

・

・

・化粧ばり構造用集成柱

・1等

・2等

・

・

・

・

・

・

・

・

・

直直集成板

[6.5.2]

品名

強度等級

種別

接着性能(使用環境)

樹種

・異等級構成直直集成板

・

・A種

・B種

・A

・B

・C

・

・同一等級構成直直集成板

・

・A種

・B種

・A

・B

・C

・

・

・

・

・

・

・

合板等

[6.5.2]

品名

板厚

接着の程度

樹種

防虫処理

・普通合板

※5.5mm

・

※1類

・2類

・

・適用する

・構造用合板

※12mm

・

・特類

※1類

・

・適用する

・化粧ばり構造用合板

・

・特類

・1類

・

・適用する

・天然木化粧合板

・

・1類

・2類

・

・適用する

・

・

・

・

・

・

防腐処理

※行う(適用範囲)

※改修標仕6.5.5(1)による

・図示

[6.5.5]

防蟻処理

・行う(適用範囲)

( )

[6.5.5]

防腐・防蟻剤はカビ・腐朽菌等を含まない非有機シリコン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。

防腐・防蟻処理の方法

工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。

ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に對し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材

保存処理性能区分

・

・K2

・K3

・K4

・

・K2

・K3

・K4

屋外の場合の形式及び寸法

[6.6.3][表6.6.2]

※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による

下地材の間隔(mm)

施工箇所

野縁受、吊りボルト、インサート

野縁

中央部

周辺部

・

・

・

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

既存の埋込インサート

・使用する

・使用しない

[6.6.4]

あと施工アンカーの引抜き試験

・行う

・行わない

[6.6.4]

屋外の場合の試験

荷重

・400N

箇所数

・当該階において3箇所程度

・図示

ふとところが3mを超える場合の補強

※図示

・

[6.6.4]

屋外の天井の補強

※図示

・改修標仕6.6.4(11)による

[6.6.4]

[6.8.2]

種類

JISの記号

色柄

厚さ(mm)

※発泡層のないもの

※FS

・

※無地

・マーブル柄

※2.0

・発泡層のあるもの

・

※柄物

・無地

・

工法

※熱溶接工法

・突付け(施工箇所)

( )

[6.8.3]

[6.8.2]

種類

JISの記号

厚さ(mm)

備考

※コンクリート型床タイル

KT

※2.0

・

・単層型床タイル

TT

・

・

・複層型床タイル

FT

・

・

・置敷き型床タイル

FOA

・

・

・薄型置敷き型床タイル

FOB

・

・

13

帯電防止床タイル張り

14

誘導用、注意喚起用床材

15

ビニル幅木

16

カーベットの敷き

17

合成樹脂塗床

18

フローリング張り

19

畳敷き

20

せっこうボード

その他のボード張り

種別

厚さ(mm)

性能

・コンクリート型床タイル

※2.0

・

体積抵抗値(JIS K 6911による)

・ポリスチレン型床タイル

※4.0又は4.5

・

1.0×10<sup>9</sup>Ω以下、又は、

・

・

・

漏洩抵抗値(JIS A 1454による)

・

・

・

1.0×10<sup>10</sup>Ω未満

視覚障害者用タイル

[6.8.2]

適用箇所

種類

寸法(mm)

形状

屋内

・塩化ビニル系

※300×300

・

ブロックパターン

・レジンコンクリート系

※300×300

・

JIS T 9251

・磁器又はせっ器タイル

・

・

による

屋外

・コンクリート系

※300×300×60

・300×300×30

・

・磁器又はせっ器タイル

・

・

・

高さ(mm)

※60

・75

・100

[6.8.2]

・織じゅうたん

[6.9.1][6.9.2][表6.9.1]

種別

織り方

パイル形状

帯電性

色・柄等

・A種

・ウィルトカーペット

・カットパイル

人体帯電圧

※単一色(無地)

・B種

・ダブルウェルカーペット

・ルーフパイル

※3kV以下

・柄物(標準品)

・C種

・フキミスターカーペット

・カット、ルーフ併用

・

・

・タフテッドカーペット

[6.9.2][6.9.3][表6.9.2]

パイル形状

パイル長(mm)

工法

帯電性

・カットパイル

※5.0〜7.0

・

※全面接着工法

人体帯電圧

・マルチレベルルーフ

※4.0〜6.0

・

・グリップ工法

※3kV以下

・レベルルーフパイル

※4.0

・

・

・

・カット、ルーフ併用

・

・

・

・

・タイルカーペット

[6.9.2]

種別

パイル形状

電気抵抗値(Ω)

施工箇所

※第一種

※ルーフパイル

※適用しない

・

・

・カットパイル

・10<sup>9</sup>Ω以下

・

[6.10.3][表6.10.4〜表6.10.8]

種別

仕上げの種類

・弾性ウレタン樹脂塗床材

※平滑仕上

・防滑仕上

・つや消し仕上げ

・エポキシ樹脂塗床材

※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑

・防滑)

・

・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑

・防滑)

・樹脂モルタル仕上げ(※平滑

・防滑)

・薄膜型塗床

[6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.5][6.11.6][表6.11.1〜表6.11.6]

品名

樹種

等級・種別

板厚

工法

仕上塗装

・フローリングボード1等

・なら

・1等

※15

・

・釘留め工法

・塗装品

・フローリングボード1等

・なら

・1等

※15

・

・接着工法

・無塗装品

・フローリングボード1等

・なら

・1等

※15

・

・埋め込工法

・

・フローリングボード1等

・なら

・1等

※15

・

・接着工法

・

・天然木化粧複合フローリング

・

・A種

・

※釘留め工法

・塗装品

・

・

・B種

・

・接着工法

・無塗装品

・

・

・C種

・

・

・

・複合フローリング(大型積層型式)

・かば

※18

・

※のりくぎ併用

・塗装品

・

・

・

・

・ビス留め

※無塗装品

現場塗装仕上げ

・行う(塗料: )

・行わない

[6.11.6]

[6.12.2][表6.5.10][表6.12.1]

適用箇所

貴の種類

改修標仕表6.5.10による床組

・A種

・B種

・C種

・D種(※KT-Ⅲ・ )

ポリスチレンフォーム床下地

・C種

・D種(※KT-Ⅲ・ )

[6.13.2][表6.13.1]

種類

厚さ(mm)・規格等

・硬質木毛セメント板

・15

・20

・25

・普通木毛セメント板

・15

・20

・25

・けい酸カルシウム板

タイプ2(無石棉)

・ロッキング化粧吸音板

※フックタイプ(※9.0

・12.0

・ )

・凹凸タイプ(※12.0

・15.0)

・((値)不燃)

・せっこうボード

・9.5(準不燃)

・12.5(不燃)

・不燃積層せっこうボード

9.5(不燃)

・化粧無(下地張り用)

・化粧有(トランパー模様)

・シーリングせっこうボード

・9.5(準不燃)

・12.5(準不燃)

・強化せっこうボード

・12.5(不燃)

・15.0(不燃)

・難燃合板

・普通合板

表板の樹種

板面の品質

厚さ

※図示

・

接着の程度

・1種

・2種

防虫処理

・行う

・行わない

軽量鉄骨下地ボード・遮音壁の遮音シール材

[6.13.2]

※適用する

・適用しない

・せっこうボードの継目処理

[6.13.3][表6.13.5]

目地工法の種類

せっこうボードのエッジの種類

施工箇所

・継目処理工法

・テーパード

・ベベル

・

・突付け工法

・ベベル

・スクエア

・

・目透かし工法

・ベベル

・スクエア

・

仕様書(そのⅢ)

Ver. 020401

湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事

年月日

2024.01

図面番号

A-04

建築 特記仕様書 3

縮尺

電機 構機

備考

有限会社 サクラ イ 設計

新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)

一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-5386・FAX 792-9990

一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人

設計者等氏名

坂大 健一

建築士登録番号等

一級建築士登録 第212355号

工事名称

湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事

図面名称

建築 特記仕様書 3



[illegible]





10追  
加  
特  
記

1公共事業労務費  
調査への協力

2工事監理方式

3適用基準等

4総合図

5工事成績評定

※協力する

共同監理・有り・無し

・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）  
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）

※作成する

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。  
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

6工事区分表

注）原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項	目	建	電	空	衛	昇	備	考
躯体関係								
1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリブ材及び取付け補強を要する型枠材及び取付け	○	○	○	○	○		
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○						
	スリブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○		
2. S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリブ・補強	○						
	使用されたスリブの穴埋め	○	○	○	○	○		
	予備スリブの穴埋め	○	○	○	○	○		
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○	○			
	屋外・屋上の基礎	○						
	屋上基礎で押さえコンにアカーしない軽微なもの	○	○	○				
	機器取付け用アンカー・架台	○	○	○				
	屋内受水タンクの基礎	○						
仕上げ関係								
軽鉄天井・壁下地	補強を用するボルトの切り込み及び下地の補強	○						
	補強を要しないボルトの切り込み		○	○	○			
	開口部の墨出し		○	○	○			
電気関係								
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○			二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○					一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○			
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）								
天井材	取外し再取付（各種配管配線作業用）	○	△	△	△			小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は要協議
流し台、ガス台		○						
便所手洗いカウンター		○						衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台					○			
ガス漏れ警報器					○			
24H換気扇	機器納入				○			取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○					機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入				○			取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○					機器納入は衛生設備

7発生材の処理等

1再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称
工事場所／施設所在地
連絡先
仮置場所の有無
備考

8化学物質の濃度測定

1)測定時期

測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。

※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド（指定値0.08ppm以下）

※トルエン（指定値0.07ppm以下）

※キシレン（指定値0.05ppm以下）

※エチルベンゼン（指定値0.88ppm以下）

※スチレン（指定値0.05ppm以下）

・パラジクロロベンゼン（指定値0.04ppm以下）

3)測定室

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

・室（測定箇所箇所）

4)測定方法

測定機器

※パッシブ型採取機器

・監督員の承諾する機器

測定要領（パッシブ型測定法の場合）

※測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※測定は次のイ～ハによる。

イ上記測定前の措置の状態のまま測定する。

ロ測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。

ハ測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

※その他

上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたまとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたまとする。

※測定結果の分析

測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

5)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

6)報告書の提出

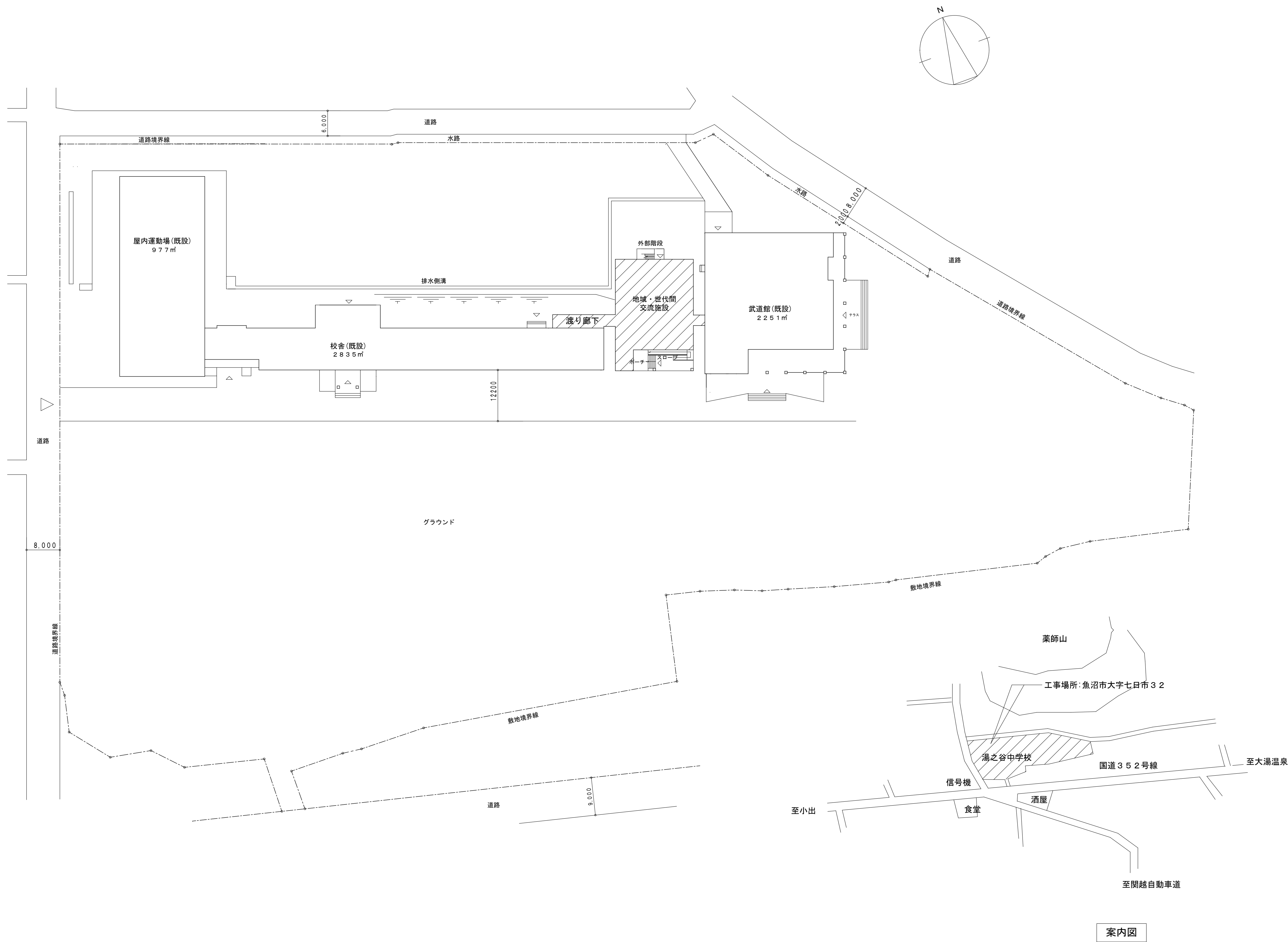
※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

9建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

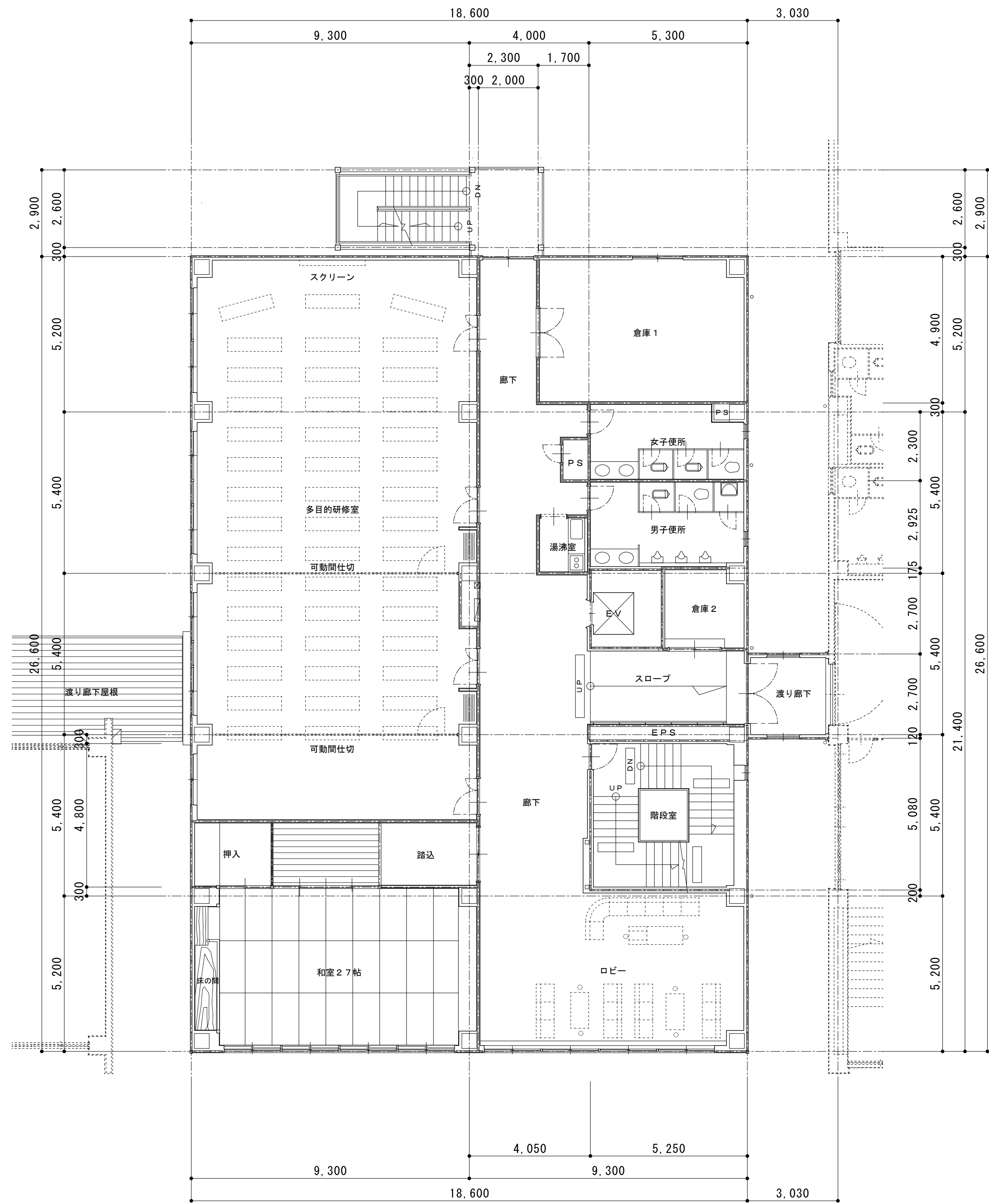
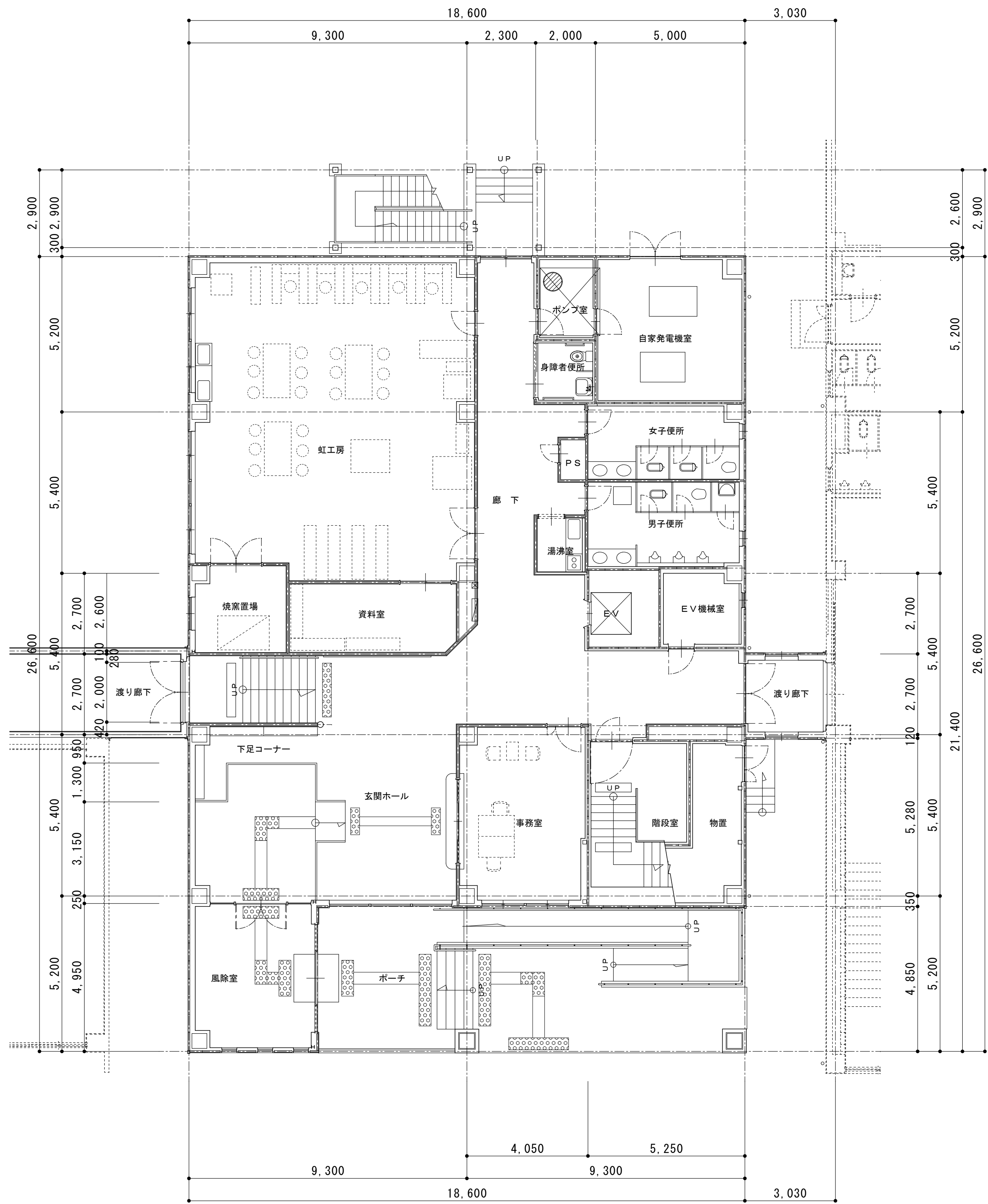
搬出する廃棄物名	廃コンクリート屑、廃7571t類	金属類等	廃ガラス等、その他がれき類
処理施設名称	桜井石材リサイクルランド	(有)渡辺鋼鉄店	(株)小出環境サービス
施設所在地	魚沼市下倉1241-1	魚沼市四日町381-1	魚沼市七日市416-1
連絡先	025-792-0353	025-792-6140	025-792-0208
備考	約7km	約5km	約3km

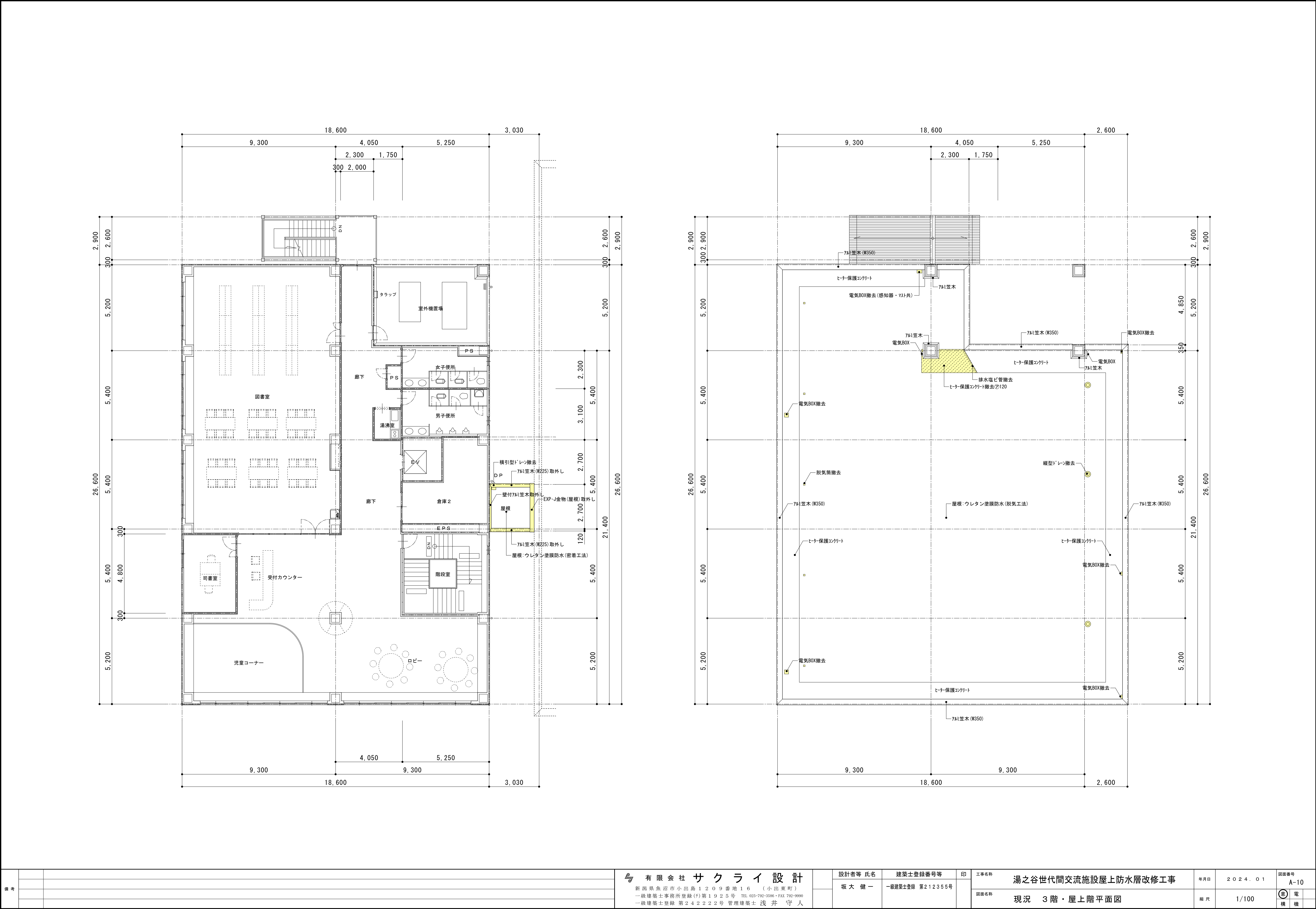
上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限り



備考			有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人		設計者等 氏名	建築士登録番号等	印	工事名称	年月日	2024.01	図面番号	A-08
					坂大 健一	一級建築士登録 第212355号		湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事				
								案内図 配置図	縮尺	1/500	電機	
											構機	

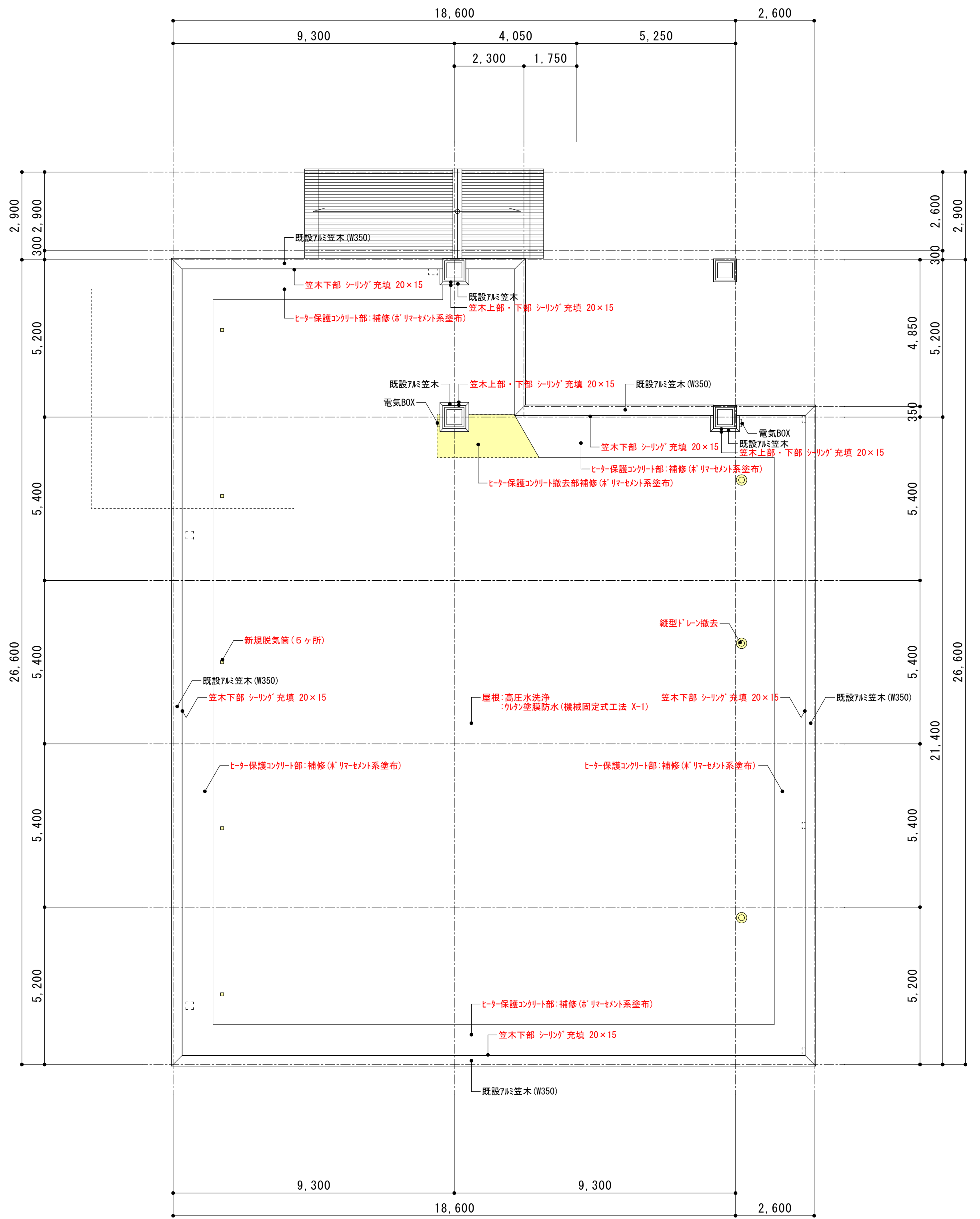
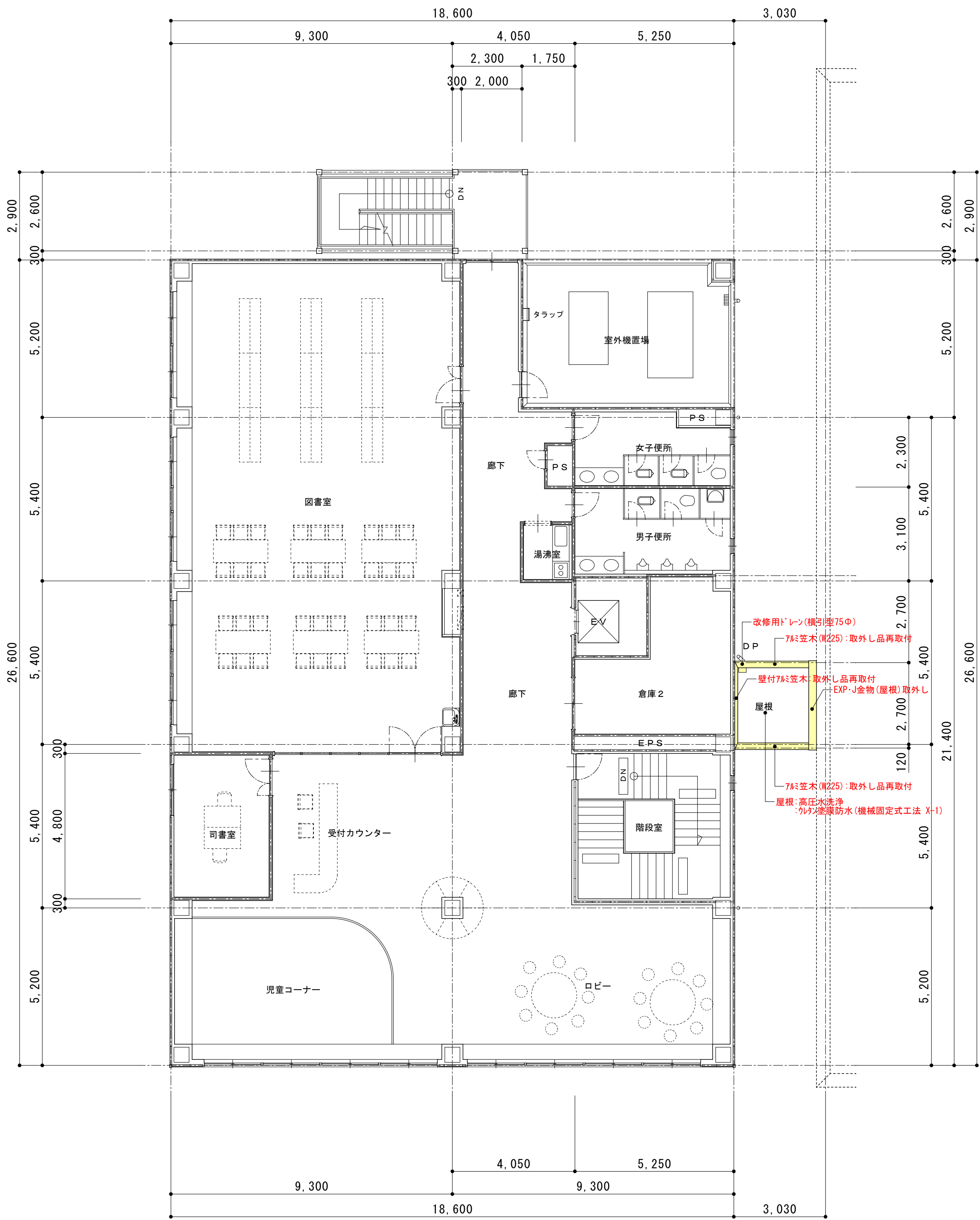






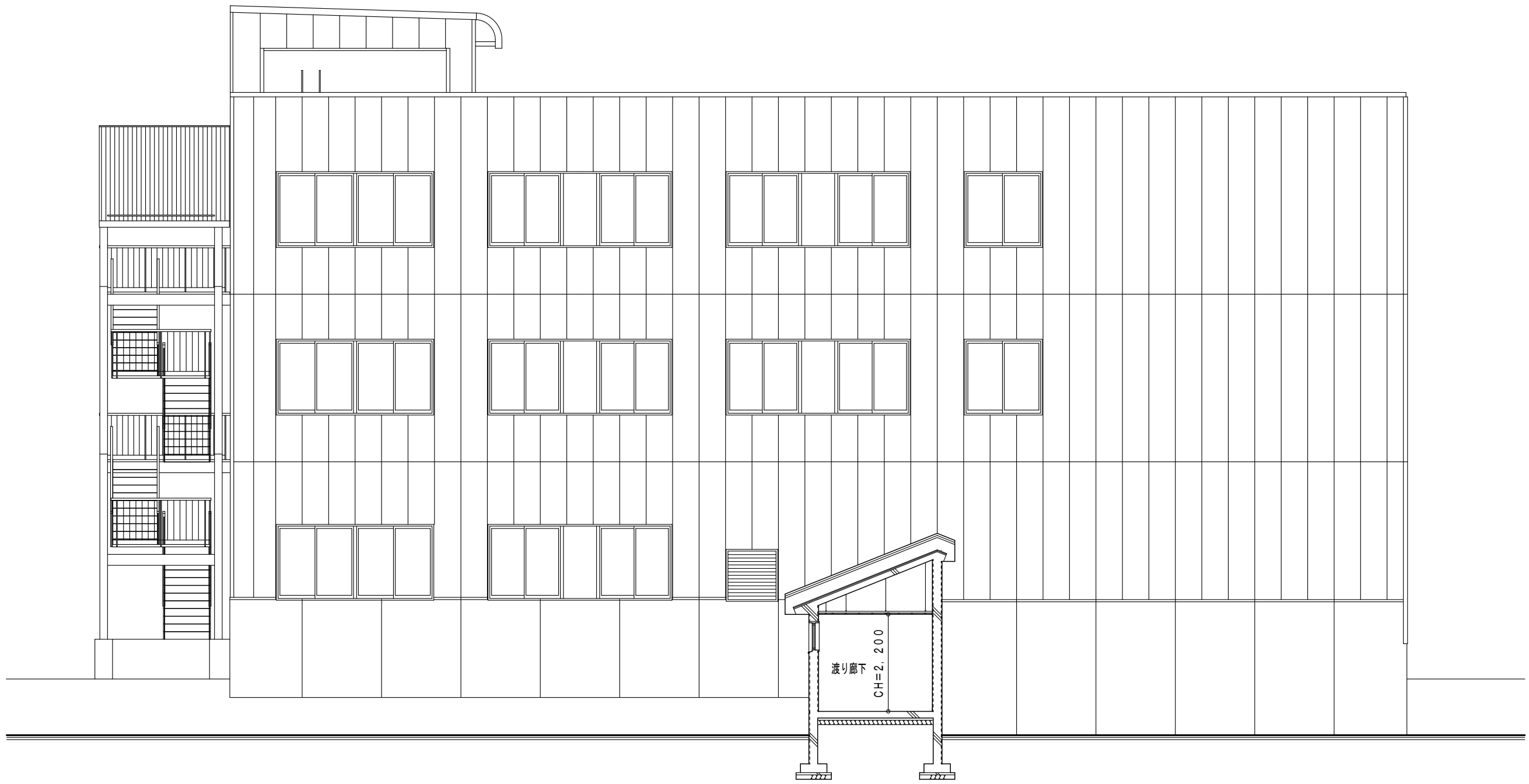
備考		有限会社 サク ラ イ 設 計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第24222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等 氏名 坂 大 健 一	建築士登録番号等 一級建築士登録 第212355号	印	工事名称	湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事	年月日	2 0 2 4 . 0 1	図面番号	A-10			
	図面名称					現況 3階・屋上階平面図	縮 尺	1/100	電機構機					







北面立面図 S=1/100



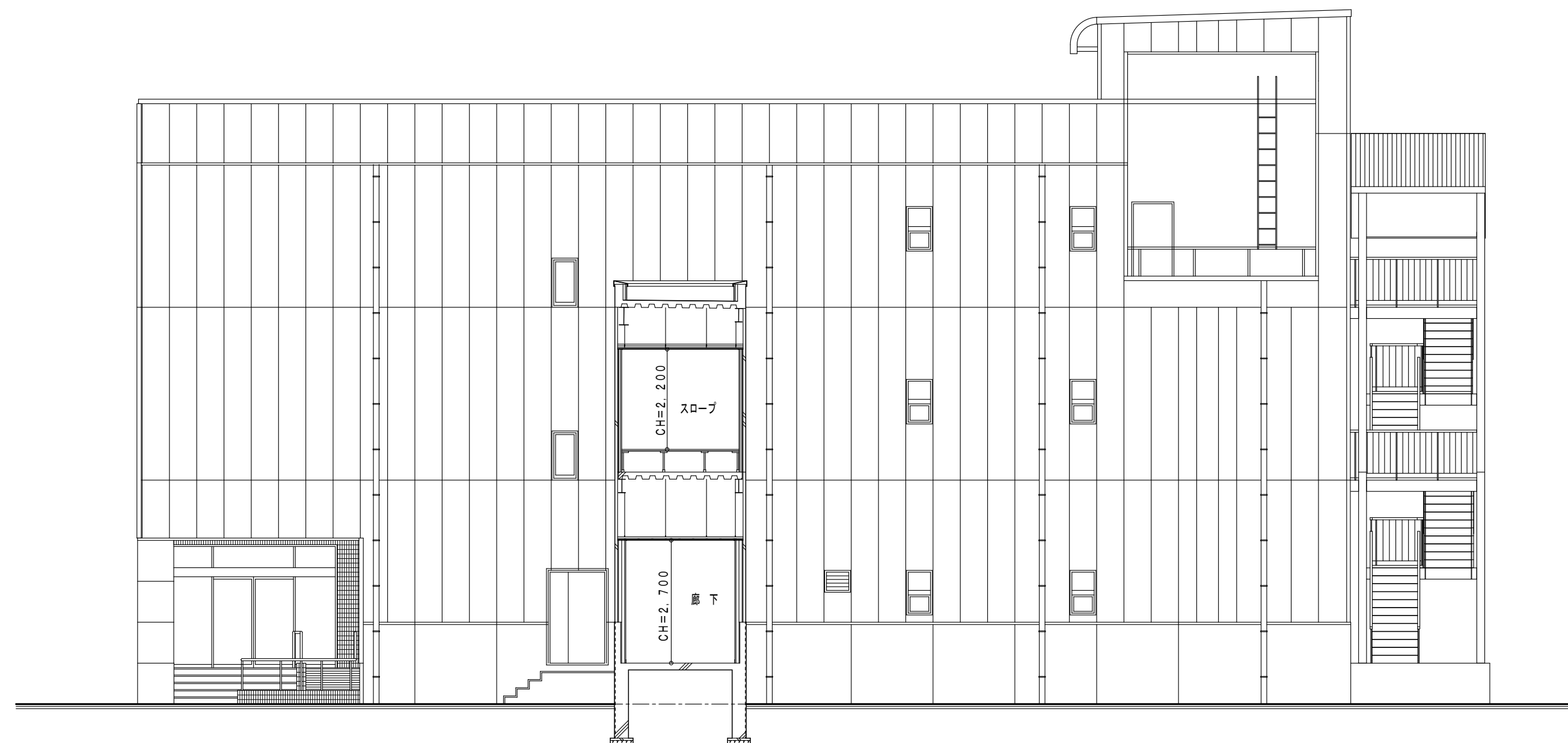
西面立面図 S=1/100

備考		<div><div><div></div></div><div>有 限 公 司 サ ク ラ イ 設 計</div><div>新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人</div></div>		設計者等 氏名	建築士登録番号等	印	工事名称	年月日	2024. 01	図面番号	A-12
	坂大 健一			一級建築士登録 第212355号		図面名称	南面・西面立面図（参考）	縮尺	1/100	<div><div>電</div><div>機</div></div>	

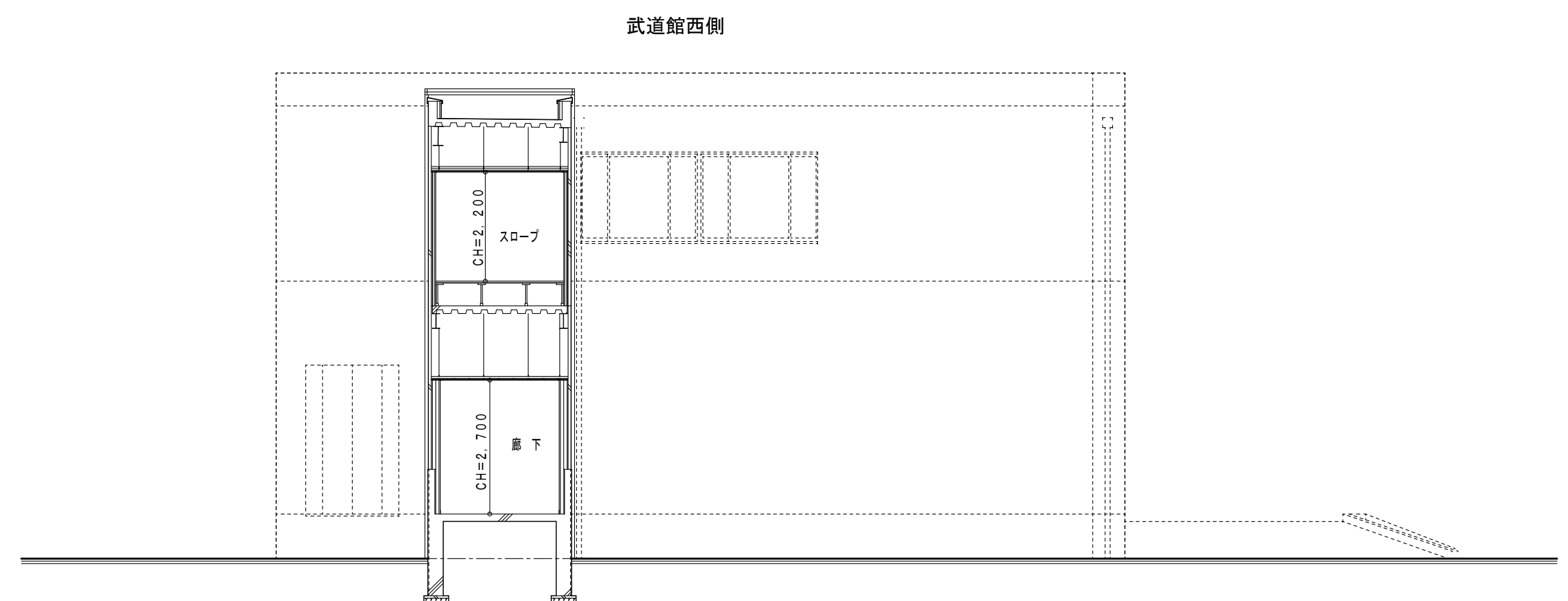





北面立面图 S=1/100



東面立面図 S=1/100



武道場渡り廊下断面図 S=1/100

備考					 有 限 会 社 サ ク ラ イ デ ィ ン グ 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第24222号 管理建築士 浅井 守 人	設計者等 氏名 坂 大 健 一	建築士登録番号等 一般建築士登録 第212355号	印	工事名称	年月日	2024. 01	図面番号
	湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事									A-13		
	図面名称	縮 尺	構 造	電 機								
				北面・東面立面図 (参考)								

